



シニア体験（高齢者疑似体験）〔4年生〕

6月10日(水)、いわき市社会福祉協議会より用器具を借用して、4年生が高齢者の疑似体験活動(用器具の装着による作業・歩行体験)を行いました。高齢者の身体機能の変化を体験し、「どのようなことに困っているのか」「私たちに何ができるのか」などを考えました。足首、手首におもりをつけ、膝やひじ、腰や肩、手にサポーターを装着し、さらに手袋やゴーグルをつけることで、移動や作業がかなり困難になり、視界や視力も大きく低下して、危険や不安も強く感じたようです。子どもたちは、高齢者に対する理解や配慮の必要性を身をもって感じることができました。この体験が、日常生活の中で高齢者や障がい者の方などと接するときに、生かされていくものと思っています。



「田んぼの生き物調べ」(5年生)〔総合的な学習の時間〕

5年生は、田植え体験に引き続き、6月24日(水)に「田んぼの生き物調査」を行いました。JA福島さくら平窪支店様、田植えでもお世話になった鈴木義直様などのご協力を得て、田や用水路に住む生き物を見つけ、観察することができました。

ドジョウやおたまじゃくし、ザリガニ、ヤゴなど、たくさんの生き物が生息していることに気づき、平窪の豊かな自然を改めて感じることができました。また、田んぼには、米の収穫や生き物の命を育むばかりでなく、水の浄化、雨水をため災害を防ぐ、水が蒸発して気温を下げるなど、多くのはたらきがあることを知りました。

なお、この活動は、公益財団法人JKA「地域ふれあい交流活動」補助事業の一環でもあります。



